

医療法人小林病院 地域医療連携室だより



ふれあい

令和4年2月

朝夕寒さが増し、冬の厳しい季節となり、より心身の健康に気遣われていることと思います。先を見通しづらい状況ではありますが、当院では、患者様、ご家族様の健康に寄り添い、コロナ禍である時世だからこそ出来るふれあいを大切に、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。

訪問リハビリテーション

平成21年より、当院訪問リハビリテーションは開始しました。現在、利用者様15名、近隣地域を毎日訪問しております。

在宅における訪問リハビリテーションの専門職としての役割は①EBM（科学的根拠に基づいた医療）に基づく身体評価の実施や機能訓練の処方といった医学的見地から介入②生活習慣の改善や住環境の設定等、生活面から介入、と大きく2点あると考えられます。

コロナ禍により、多くの人と会う機会が減り、かつてのような交流が難しくなっている現状だからこそ、訪問を楽しみにされている患者様の小さな変化に目を配り、耳を傾けられるような心がけております。



(担当：理学療法士 ^{やぶき} 藪木)

小林病院、「おだわらSDGsパートナー」に登録されています！

持続可能な街づくりとSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、小田原市と共に取り組む「おだわらSDGsパートナー」として昨年より登録されています。健全な職場環境づくりと職員の幸福の追及に努めています。

※地域医療連携室が4階A棟へ

地域医療連携室が駐車場内建物より、外来入院棟4階へ移転しました。本年1月より新入職者箭子（やこ）が加わり、相談員4名体制となりました。今後、益々の連携が図れるよう、何卒、よろしく願い申し上げます。